

# 一粒のチョコレートから世界を見よう ～未来予想図 なりたい自分を見つけよう～

学校所在府県：京都府

指導時数：6時間

学校名：京都市立春日野小学校

対象学年：小学6年生 2クラス

名前：松本 清代

対象人数：60人

実践教科：総合的な学習の時間（樹学習）

## 1. 教師海外研修を通して感じたこと

「わたし達が受け継いでいるもの」を考えると、思いつくものは言語、食文化、衣服等、目に見えるものが多い。しかし、地球の反対側に位置するブラジルで多くの日本人（日系人）と接し、わたし達が受け継いでいるものの大部分は「思いやる心」「助け合い」「調和」「おもてなし」「感謝」等、目に見えないものであることを感じた。同時にそれは、日本に暮らすわたし達にとっては「道徳」として「当たり前」に浸透していることでもある。

日常生活ではどうしても、新しいものや外国のものに目がいきがちである。しかし、この研修を通して、わたし達が知らず知らずのうちに受け継いでいるものこそが、かけがえのない、素晴らしいものであるということに気づくことができた。

日本は JICA を通じて数多くの国で国際協力を行っている。また、数多くの国に多くの日本人及び日本にルーツをもつ人々が生活し、その地域に浸透し、多種多様な分野で活躍している。その根底にもこれらの日本に受け継がれてきた心が息づいていることを感じた。

この研修を通して、「わたし達は素晴らしい多くのことを知らず知らずのうちに受け継いでいる」ということに、子ども達にも気づかせたいと考えるようになった。その気づきが「自分を大切にすること」につながり、更には「相手を大切にすること」気持ちへ、そして互いを尊重し合い共に生きる「多文化共生社会」の構築への一助となればと考えている。

## 2. カリキュラム

### (1) 実践の目的・背景

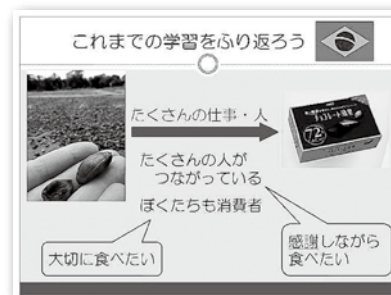
本校においては、「総合的な学習の時間」を「樹学習」と呼び、各学年での学習内容を定め、4年間を見通し学習を深めている。その内容は、第3学年では高齢者療養施設をはじめとした地域にある施設を訪ねたり地域の人と交流したりして、自分達も地域の一人であることに気づき、第4学年では障がいのある人々との交流を通して、互いに支え合って生きることの大切さについて学ぶ。第5学年では保育士体験をはじめとして、地域に位置するお店で「働く」ことを体験する（単元名「われらお仕事体験隊」）。第6学年では、京都市学生シティにおいて実際に働き、報酬を得る体験を通して、その大変さや面白さに触れる。また、実際に社会で働く方々をゲストティーチャーとして招き、様々な仕事に就く人から話を聞いたり、興味をもっている職業について調べたりしながら、自らの生き方について考える学習（単元名「未来予想図～なりたい自分を見つけよう～」）をしている。

本単元は、この第6学年での「未来予想図」の一環に位置付け、これから「働く」ことについて更に学習を深め、自らの生き方を探究する過程において、自分の活躍の場が広く世界にもあることを感じさせることをねらいとしている。今回は、自分達の身近にあるものが世界とつながっていることや、自分達の身近にあるものにも多種多様な「仕事」が直接関わっていることを知ることを目的とした。そこで、誰もか知っている「チョコレート」を切り口として、製品化されるまでにどのような人々が携わり、どのような仕事をしているのか実際に考えることで、まだまだ知らない仕事がたくさんあることを感じさせたい。また、世界では自分達と同じ文化やルーツをもつ人々が様々な立場で活躍していることを知ることが、子ども達の将来の可能性を広げるきっかけにもなればと考え、授業を構成した。

## (2) 授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
<b>1 時限目</b> ブラジルに興味・関心をもつ。 *ブラジルに関する基礎知識を得る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ブラジルの位置を確認する。</li> <li>●「どっちがブラジル?どっちが日本?」クイズを通して日本文化がブラジルに根付いていることを知る。</li> <li>●「モノランゲージ」に取り組むことで、「アサイー」「カカオ豆」「ピラルク」「アグロフォレストリー」「移民」という言葉に触れ、日本とブラジルの歴史的なつながりについて知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パワーポイント</li> <li>●ブラジル地図</li> <li>●写真</li> <li>●アサイーの実・カカオ豆・ピラルクの鱗・石けんの実</li> <li>●テレビ番組の映像</li> <li>●ワークシート</li> </ul>
<b>2 時限目</b> チョコレートに関わる人々について考える。 *日頃何気なく手に取っているものが外国や多くの人とつながっていることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カカオの実がチョコレートに加工される行程がわかるビデオを見て、チョコレートが製品になるまでの工程を知る。</li> <li>●チョコレートが出来上がるまでに多くの人々が関わっている事を知り、どのような仕事に就いている人がいるのか具体的に考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パワーポイント</li> <li>●写真</li> <li>●テレビ番組の映像</li> <li>●meiji「チョコレート効果」</li> <li>●ワークシート</li> </ul>
<b>3 時限目</b> 自分に向いている仕事を選ぶ。 *自分の得意なことや適性について考える機会とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「工場長」「会計」「農作物生産者」「研究者」「(パッケージ)デザイナー」「接客業」の中から自分に向いている仕事を選び、その理由について考える。また、友達に仕事をすすめてもらい、自分の適性について考える。</li> <li>●「どんな人と働きたいか」「どんな人と過ごしたいか」考えることで、働く際に必要となる知識や大切なマナーについて考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パワーポイント</li> <li>●それぞれの仕事内容を説明した資料</li> <li>●ワークシート</li> </ul>
<b>4 時限目</b> 何をしている人かな *社会には様々な仕事があること、多くの日本人がブラジルで活躍していることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現地で集めたインタビューを見て、まだまだ知らない仕事があることや、多くの日本人が海外で活躍していることを知る。</li> <li>●就いてみたいと思う仕事を選び、その仕事について調べるといふ次時の学習内容を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パワーポイント</li> <li>●インタビュー 美容師・医師・(日本語)教師・商社会社員・JICA職員・療育施設職員</li> <li>●ワークシート</li> </ul>
<b>5 時限目</b> 興味をもった仕事について調べよう *興味のある仕事についてグループで協力して調べ、まとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●仕事内容・必要な知識・その仕事に就くための方法などについて調べる。</li> <li>●相手意識をもって、友達に分かりやすいように工夫してまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パワーポイント</li> <li>●仕事についてまとめられた資料</li> </ul>
<b>6 時限目</b> 5つの仕事について知り、自分に向いている仕事を選んでみよう *自分の適性について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループで調べた仕事について発表する。</li> <li>●友達が調べた仕事についても知る。</li> <li>●5つの仕事をランクづけることで、自分に向いている仕事を見つける。</li> <li>●働く自分を想像して、これから取り組もうと思うことを交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パワーポイント</li> <li>●ワークシート</li> </ul>

### 授業で使ったパワーポイント (一部抜粋)



### 3. 授業の詳細

#### 1 時限目：ブラジルに興味・関心をもつ

ねらい…ブラジルに関する基礎知識を得る。



日本？ ブラジル！



##### ◆内容◆

- ①ブラジルの位置を確認し、今もっているブラジルに対するイメージについて交流する。
- ②「どっちがブラジル？どっちが日本？」クイズを通して日本文化がブラジルに根付いていることを知る。

👉👉がポイント！

クイズ形式にすることで全員が積極的に参加できるようにする。合っているか間違っているかだけでなく、なぜ日本の文化がブラジルに根付いているのか疑問をもてるようにする。

- ③写真と説明を組み合わせ、キーワードを探す「モノランゲージ」に取り組み、カカオ豆やアサイー・アグロフォレストリー・移民の歴史について知る。
- ④移民の歴史や日本とブラジルの歴史的なつながりについて知る。

##### 児童の感想

- ▶ブラジルに日本の文化が根付いていることがわかりました。
- ▶「移民の碑」がブラジルにも日本にもある理由がわかりました。
- ▶日本とブラジルが仲良しだということを知ってうれしかったです。
- ▶ブラジルと聞いて思い浮かぶものが“日本”になりました。
- ▶自然を守る活動(アグロフォレストリー)があることがわかりました。



モノランゲージ

◆所感◆ 子ども達はブラジルと聞くと、サッカー・サンバ・アマゾンと答える。ブラジルに対して決まったイメージが強いことを感じた。しかし、授業の後は上記のような感想に変わった。多くの児童がブラジルに対して興味をもつことができた。

#### 2 時限目：チョコレートに関わる人々について考える

ねらい…日頃何気なく手に取っているものが外国と繋がっていることや、ひとつの製品が出来上がるまでに多くの人（仕事）が関わっていることを知る。

##### ◆内容◆

- ①トメアスで作られているカカオ豆が近所のスーパーでも売っている「meiji チョコレート効果」の原料であることを知る。
- ②チョコレートが出来上がるまでに、どのような人が関わっているのかを考える。

👉👉がポイント！

実際に「meiji チョコレート効果」の箱を手に取り、パッケージにある「アグロフォレストリー」という言葉を見つけることで、ブラジルで生産されたものが自分たちの身近にあることを感じられるようにする。



アグロフォレストリーって書いてある！

- ③ビデオを見たり友達と考えを交流したりすることで、ひとつのものが出来上がるまでに、多くの人（仕事）が関わっていることに気づく。

##### 児童の感想

- ▶1つのチョコレートができるまでに、こんなに沢山の仕事や人が関わっていてびっくりしました。
- ▶たくさんの方が作ってくれたので、感謝しながら大切に食べたいです。
- ▶他の食べ物についても調べてみたいです。
- ▶ぼくたちも消費者なので、たくさんの人とつながっています。

チョコレートを食べる時にこんなに沢山の人が関わっているのを考えたことがなかったので、感謝しようと思いました。他にもサイヤなどの他の物についても調べてみたいです。興味をもって調べたいです！

児童の感想より

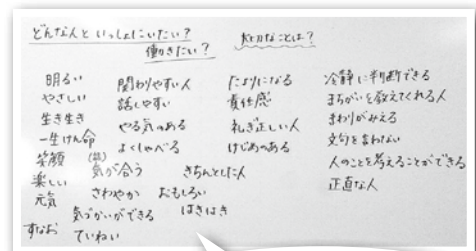
◆所感◆ 子ども達は第3学年時に流通について学んでいるが、実際に「一粒のチョコレート」を手に取り、それがどこからきたのか、どのような行程を経て製品となっているのか改めて考えることで、そこに多くの人々（仕事）が関わっているということに気づくことができた。また授業を通して、人や食べ物への感謝の気持ちを持ち、人とのつながりを感じることもできた。アグロフォレストリーについても「作物を作りながら森もつくる方法は地球にもやさしい」など、学習の理解を深めたことわかる感想も多かった。

### 3時限目：自分に向いている仕事を選ぶ

ねらい…自分の得意なことや適性について考える機会とする。

◆内容◆

- ①「工場長」「会計」「農作物生産者」「研究者（味を決める人）」「（パッケージ）デザイナー」「接客業」の中から、自分が向いている仕事を選んだり、友達に仕事を薦めたりする。理由も合わせて交流する。
- ②働く上で必要となる知識やマナーについて考える。
- ③仕事に就くためには、専門的な知識や技能だけでなく、「あいさつ」「健康」「協力」など、普段の生活で当たり前に行っていることが大切であることに気づく。



こんな人と働きたいな。

👉👉がポイント!

「どんな人と働きたいか」考えさせることで、日々の自分の行動をふり返り、毎日の生活で心がけることを見つけることができるようにする。

児童の感想

- ▶大人になったら楽しく仕事をしたいです。礼儀正しくあいさつをしっかりと、けじめをつけたいです。
- ▶仕事は知識だけでなく一緒に働きたいと思われることが大切だということがわかりました。
- ▶仕事をするためには、信頼されることが必要です。人間関係も大切にしたいです。

◆所感◆ 子ども達は「職業体験」はしているが、働くことについては未経験である。そこで、「働く際に必要なこと」を考えるのではなく、「どんな人と働きたいか、過ごしたいか」という質問に変えてみた。そうすることで、「明るい人」「元気な人」「頼れる人」という想定した答えだけでなく、「相手の気持ちを考えることのできる人」「責任感のある人」「礼儀正しい人」などといった多くの意見を引き出すことができた。

### 4時限目：何をしている人かな

ねらい…社会には様々な仕事があること、多くの日本人がブラジルで活躍していることを知る。

◆内容◆

- ①ブラジルで活躍する方（美容師・日本語教師・商社会社員・医師・療養施設職員・JICA 職員）のインタビューを見て、それぞれの仕事内容や仕事に対する思いを聞きとり、まだまだ知らない仕事があることや、多くの日本人が海外で活躍していることを知る。



ブラジルから届いたインタビュー

👉👉がポイント!

JICA（国際協力機構）や商社会社など、子ども達に身近ではない仕事についても知らせる。

②上記の人々からのインタビューを見て感想をまとめ、次時に自分が調べる仕事を決める。

児童の感想

- ▶夢をもちたいです。そして、勉強もがんばりたいです。
- ▶自分のいいところをのびしていきたいです。
- ▶自分のことを信じてみようと思いました。
- ▶自分に向いている仕事が見つかったらいいなと思います。



ブラジルで働く方からのメッセージ

◆所感◆ 実際に外国で働く人からのメッセージは子ども達の心に響いたようである。JICA や商事会社など、これまで知らなかった仕事に興味をもった児童も多い。インタビューさせていただいた方からの「世界は広い」「夢に向かって努力してほしい」というメッセージが印象に残ったようである。また、「毎日みんなに笑顔で話しかけたい」と感想を書いた児童もいた。日々の生活でも心がけてくれたらと思う。

### 5時限目：興味をもった仕事について調べよう

ねらい…興味のある仕事についてグループで協力して調べながら、その仕事で必要となる資格や知識について考え、まとめる。



調べ学習の様子

◆内容◆

- ①資料を参考に、仕事の内容・必要となる知識・その仕事に就く方法について調べたり考えたりして、友達に伝わりやすいように工夫しながらまとめる。

◆所感◆ 時数の関係もあり、ある程度の資料を事前に準備しておいたが、子ども達はあいている時間にインターネットや書籍を使って調べ学習に取り組んでいた。また、どのような人がその仕事に向いているかを想像しながらまとめ、発表時に聞き手の印象に残るよう工夫する姿も見られた。

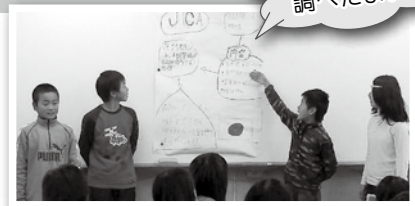
### 6時限目：5つの仕事について知り、自分に向いている仕事を選んでみよう

ねらい…5つの仕事について知り、自分の適性について考える。

JICAについて調べたよ。

◆内容◆

- ①グループで調べた仕事について友達に知らせる。
- ②友達の発表から「美容師」「日本語教師」「医師」「商事会社員」「JICA 職員」の仕事について知る。



ココがポイント!

「最後に自分の将来や自分自身について考える」ことを初めに伝えることで、働く自分を想像しながら友達の発表を聞き、今から取り組もうと思うことについても意識できるようにする。

- ③日本（人）が関わる国際協力について紹介する。
- ④5つの仕事をランクづけし、その理由や今後がんばろうと思うことを交流する。

児童のランク付け1位の仕事とその理由

- 色々な人とふれ合いたいから（日本語教師）
- 困っている人が笑顔になってくれたらうれしいから（JICA 職員）
- 人を助けたいから（医師）

色々な「国際協力」があるね。



## ◆所感◆

子どもの言葉で仕事について発表させることで、聞いていた児童の理解も深まったように感じた。事前に想像していた以上に、子ども達の目は海外に向いていた。そのため、「海外についてもっと知りたい」「外国語を話せるようになりたい」「いつでも、どこでも、友達にやさしく接したい」というように、自分についてふり返りながら、これからの行動について考えることができた。

この仕事を一歩に送る理由は？  
まじい所しかに行ける人だすげができるから。

②「仕事をやる自分」を想像してこれらががんばろうと思うこと。  
もと世界の事を知る。

3. 今回の学習（ブラジル、チョコレートに関わる仕事、ブラジルで働く人々、仕事についての調べ学習など）を通して、新たに学んだことや今の気持ち、これから取り組もう（がんばろう）と思うことを書きましょう。

今まで仕事で医師とそう像し、思いうがたのが日本の病院で医師をやる人たちでした。でも自分が医師になつたとして外国で治療することもできるんだと知りました。活版の場所は江と北列環ね、世界中に、Bを向けるとおもしろい。

児童の感想より

## 4. 成果

一粒のチョコレートを切り口に始めた授業であった。私達の生活が外国と関わっていること、モノを介して多くの人と繋がっていることを感じさせたいという私の思い以上に、子ども達は柔軟に物事を受け入れ、自ら考えることができた。つながっている人への感謝の気持ち、私達も消費者として関わっていること、一緒に働きたいと思われることの大切さ、全ての仕事が国の発展を支え人々を助けているということ等、最終的には子ども達に教えられることもたくさんあった。また、これは私がブラジルの日系社会で感じた「わたし達が受け継いできたもの」、そして「子ども達に伝えたいと思ったこと」そのものでもあった。

子ども達はこの授業を通して、知らない仕事はまだまだあることに気付くことができた。これからも「仕事」に興味をもち、悩んだり決断したりする過程を通して自らの生き方を探究し、自らの可能性や活躍の場を広げてくれたらと考えている。同時に、人との関わりを常に感じ、感謝の心を忘れず、互いに支え合って生きようとする気持ちをもち続けてくれることを願っている。

## 5. 課題

JICAの仕事・商事会社の仕事・医師の仕事とどれをとっても、簡単に語れるものではない。また、その仕事に就くきっかけや過程は人それぞれであり、仕事に対する思いも人の分だけ存在する。子ども達が課題を見つけ、自らの力で調べ、疑問を解決し、新たな疑問をもつという一連の学習に今後も取り組むことで、「なりたい自分になろう」とする力をつけていきたい。

また、自らの体験を伝えることのできる教師という立場に感謝し、形を変えながら今後もブラジルでの体験をより多くの子ども達に伝えていくことが私に課せられた課題であると考えている。

- 参考資料 「21世紀子ども百科 しごと館」 小学館  
「夢に近づく仕事の図巻6 世界を見たい！」 [仕事の図巻] 編集委員会  
「新13歳のハローワーク」 幻冬舎  
「しごとライブラリー< I > ~ < IV > = 興味のある仕事を探してみよう」 旺文社  
meiji 「チョコレート効果」  
F N S 「リアルスコープ HYPER 激変するアマゾン2時間 SP」  
N T V 「ブラジル大捜査 世界の真裏に行つて JAPAN」